

びとう和広後援会ニュース

2016. 8. 29

第 42 号

発行責任者
浅居繁樹

安心で元気な
三田のために

後援会総会で
決意表明!

びとう和広後援会定期総会

於:MELON三田会議室

4期目に向けて
頑張ります!

4/22



初秋の候。

まだまだ暑い日が続いています。後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

4月14日以降発生した熊本大地震、被災された方々や未だに避難されておられる多くの方々に心からご冥福とお見舞いを申し上げます。

また、日本だけでなく、世界中で異常気象による風水害も起こっており、単に地球温暖化だけでは片づけられない状況を痛感しております。

今年7月の参議院選挙では自・公勢力が3分の2を超え、憲法見直し論が一気に加速されることが予想されます。子育て支援や年金問題や奨学金問題のように、民主党時代から言ってきた課題が見直されつつあることは、評価するものの、今後の動向に注視し、本当の将来安心な社会に向け、問題点には強く声を上げ続ける所存です。

三田市におきましては、森市長就任から一年、今年度予算が承認され、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」はじめ、「子どもに夢を、高齢者に安心を、地域に元気を」の基本政策のもと、「日本一住みたいまち三田」に向け、次々と政策と進められ、その成果を期待しております。

6月議会でそのための課題確認として、働き続ける環境・若者の定住・災害対策について一般質問しました。特に、介護や育児による離職のない仕組み創りと若者の定住対策を重点に、持続可能なまちづくりを訴えました。

また、一昨年10月に発足した政策研究会は、条例を議会から提出しようと皆で立ち上げた会でしたが、議長判断で条例上程は先送りとなりました。

後援会活動では、4/22開催の後援会総会におきまして、来る9月の市議会選挙に「びとう4期目挑戦」を決定いただくとともに、後援会人事では、浅居新会長はじめ役員・幹事の新体制が承認されました。

また、今年はオータムフェスティバルが9月3日に開催され、びとう和広後援会も協賛し、例年同様、「くじ引き」コーナーを開設します。多数のご来場をお願いいたします。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気のある三田に向け、精一杯頑張らせて参ります。皆様におかれましては、一層の力強いご支援・ご協力とご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員

びとう かずひろ 和広



びとう和広の活動日記

今年1月からの活動の一部をご報告いたします。

労働組合連合会で活動報告会



三菱電機関連労組の大会
議員12年の実績と課題に
ついて、報告しました。

三菱電機労働組合中央委員会
三田市議会議員選挙に向け、
公認候補と決定頂きました

中央委員会

三菱電機労働組合中央委員会

公認証書の 伝達式

4/22

会派で視察



岩手県奥州市に視察
地域活性化に牛肉・米・りんご
などで6次産業推進中

三田地区メーデー大会



「暮らしの底上げ」をめざした三田地区メーデー大会
MELON三田の皆様との集合写真です。



関連労組球技大会
開会式でのご挨拶

労連球技大会

6/4

2016年度：三田市トピックス

1. 中央公民館が三田地区市民センターに

今年9月から社会教育機能(図書館のように無料講座を主催する等)は、本庁舎におき、三田地区市民センターとして、市民活動の拠点となります。(びとうの一般質問案件)

中央公民館は 三田地区市民センターに



今後の公共施設のあり方を考え、それぞれの役割と経費を見直しています。市役所の窓口機能を持ち、納税や税の証明書・住民票の写しなどを発行します。

2. 認知症あんしんガイドブック発行

さんだ 認知症あんしん ガイドブック



今後増加が予想される認知症に対応できるよう、ガイドブック(認知症ケアパス)が発行されました。会派で甲府市を視察して、実例や課題を確認し、担当部局に要望していました。認知症の説明やどう対応したらよいか、など、三田の現状を考えて作成されています。びとうは、各人で実行できる認知症予防の方法の案内と支援体制の整備を要望しています。

3. 三田駅北口周辺に60人の認可保育園



さんだのもり保育園

三田駅北口ロータリーの横の公園に、60人の認可保育園が11月開園です。今年4月から小規模(19人)認可保育園の3園開園に続き、開設です。

さらに来年4月には、キッピーモールの隣マンション2階に、90人の認可保育園が開設予定です。

4. 市庁舎の新駐車場、10月1日にオープン

市駐車場整備が終わり、10月から武庫川沿いの入り口に戻ります。現駐車場は、今年度中に、アスファルトをとり、広域避難場所として利用可能な緑地公園となります。

5. 第二テクノパーク、新たに2社契約



第二テクノパークは
操業6社、準備中2社について、
2社と契約完了しました。(黄色部)
引き続き、企業誘致拡大を訴えます。

平成28年8月17日現在

びとう和広の視点

6月議会での一般質問です。

問: 質問、
市: 市答弁
び: びとう

1. 働き続けるための対策

び: 一億総活躍社会のためには、少子高齢化を見据えた、働き続けられる仕組みが必要だと思ふ。

問: 介護離職の実態と対策

新三本の矢の一つに介護離職ゼロが入っている。総務省によると、平成23年10月から1年間で介護や看護が理由の離職・転職は、国で約10万人、兵庫県内で5,300人。家族等に介護が必要となった場合、居宅サービスや施設への入所など、介護サービスを利用し、仕事と介護の両立を図って頂きたいが、認知症等の進行により介護負担が大きくなり、勤務先による支援や理解が得られないなどの理由でやむを得ず、離職をせざるを得ないケースも増加している。

市: 国は介護離職ゼロをめざし、「必要な介護サービスの確保」「働く環境改善・家族支援」を柱とする。

市では、**安心ケアシステムの構築**をめざし、**特別養護老人ホームや認知症グループホームの入所施設、定期巡回随時対応型訪問介護看護の在宅生活を支えるサービスの整備に注力**し、介護者の介護負担軽減に地域包括支援センターや高齢者支援センターの相談窓口やケアマネジャーの相談支援で、状況に応じた介護サービスや市福祉支援策等を提供し、今後は相談員のスキルアップと相談機能強化を図る。

問: 結婚・出産・子育て離職の実態と対策

市: 第4次三田市男女共同参画基本計画に基づき、**女性活躍推進や男性家事力アップ**などの講座を開催し、ワークライフバランスの実現に向け、事業所向け情報誌や市広報紙などで意識啓発し、仕事と家庭の両立しやすい環境づくり支援を行なっている。

三田駅周辺の認可保育所など施設充実や放課後児童クラブの時間延長、病児・病後児保育や一時預かり、ファミリーサポートセンター、さらに10月から妊娠から子育てまで切れ目のない支援を行なう総合窓口「子育て世代包括支援センター」を開設の予定。

問: 治療と仕事の両立

市: **リハビリテーション病院**では、急性期治療を終えた人に早期の在宅復帰をめざしたリハビリを提供し、回復期病床69床で現在7割が稼働中。その8割弱が三田市民病院からの紹介で、地域医療連携室も含め連携を図っている。外来のリハビリは徐々に拡充の予定で、今後はリハビリの急性期・回復期・在宅と切れ目のない身近な地域完結型の体制確立を促進する。**市は医師会等の協力で連携強化を図り、事業所への啓蒙活動と情報を提供する。**



今年4月「リハビリテーション病院」富士が丘に開設
(リハビリ病棟60床・一般病棟9床)

2. 若者の居住促進

問: 学生や働く若者の住環境

関西学院大学の学生は現在約5千人、今後6千人まで増える予定である。学生のバス通学は、約半分がJR新三田経由、1/4が三宮から、1/4が三田駅周辺からである。自宅生は約7割、自宅外は約3割とのこと。三田在住の学生の数は未確定だが、学生に話を聞くと、**・良いバイト先がない、・家賃が高い、・バスが途中下車できず店に立ち寄ることができない、・新人歓迎行事をしたいが良い場所がなく移動にお金がかかる、など、要望がたくさん出された。**一度は三田に住み始めても、結局大阪寄り、三宮寄りの住まいに移っている、とのこと。結局、多くの学生は、三田は大学以外通過点になっているのが、現状である。

大学生は4年か6年で卒業する。三田のキャンパスを活かし、**三田に住んでもらい、第二の故郷として、良い思い出を残し、三田アピールの伝承者になる仕組みづくりと、三田に住み続けてもらえるための施策が必要**ではないか。

また、働く若者は基本的に住民票が移される。就職や退寮の際、アパート選びで、他市より条件が悪い。住民税収入を考えれば、地主にも協力いただき、もっと定住強化を図るべきである。

市: 学生や若者が三田というまちを選び、住み続けるためには、**①働く場所②マンションなど住む場所③賑わいのある場所が必要だが、三田はいずれも魅力に欠けている。**三田版総合戦略で「地域に元気」を基本目標の一つとして、**若者が集い、市の魅力を知り、感性やエネルギーをまちづくりに活かす仕組みが重要**で、今年度は学生アンケートや若者のワークショップで、提言やアイデアを頂き、エネルギーを今度に活かす。

若者が地域活動やボランティア活動等の参加で、故郷意識を醸成し、将来のU I Jターンに繋ぐ。更に、東京開催の阪神北地域優良企業合同説明会などを有効活用する。

び: 今回は、働く若者の住環境に重点をおいたが、市は全く意識していなかった。若い世代の定住・転入の促進は不可欠であり、就労・恋愛・結婚・出産・子育て・教育に関する環境を整え、住みたい・住み続けたいと実感できることが重要である。まずは、**一人でも住みやすいまちが第一歩**と考える。

3. 大災害への備え

問: 非常持ち出し品の保存期間を考慮した更新促進

非常持ち出しのチェックやローリングストック法(日常的に非常食を食べ、買い足す新たな備蓄法)で継続できる体制の啓発が必要である。

市: 基本的には自助の取組みと考えるが、食料を無駄にしないことも考え、出前講座や訓練等で普及活動を展開する。

問: 大災害時の仮設住宅用地

市: 現在市内の公園など20か所を指定し、1,460戸まで**対応可能**である。今後も適地があれば、追加する。

問: 電力への備え

市: 各避難所に**ガソリンやカセットボンベ対応の発電機を配備**し、年一回動作確認している。発電機に頼らない技術も研究する。

び: 最近の地震や風水害は想定を大きく越え、突然来る。**無駄にならない、自然体の備蓄を普及促進し、可能性に備えた実効性ある展開**が必要と考える。

びとう和広後援会より

後援会では、4月22日後援会総会を開催し、役員の新人事をはじめ、昨年度の活動報告、今年度の活動計画が承認されました。

役員人事では、**会長の小倉義彦氏のご勇退**を受け、**浅居繁樹氏に会長をお願いする**こととなりました。

小倉氏は、初出馬時の三菱電機労働組合三田支部委員長であり、連合三田の会長でした。選挙や社会情勢に強く、5年前から後援会会長となられ、後援会を推進いただきました。本当にお疲れ様でした。

新任の浅居会長は、現三菱電機労働組合三田支部委員長で、連合三田の会長です。ご本人も三田市民として、今までも政策提案を頂いておりました。これからも、政策をはじめ後援会運営を推進していただきます。

地区幹事は、将来を考え、ウッディタウン地区を2地区から4地区に分割するとともに、三輪北部を1地区として集約した上で、7人の新幹事が誕生しました。

退任の役員・幹事の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。また、新役員・幹事の皆様、選挙等、お世話になります。よろしくお願いいたします。

今年の前半の活動は

- 1/5 菱和会館鏡開き
 - 2/20 カニツアー・・・三菱電機労組(三田)との共催
 - 3/11 三菱電機三田製作所構内市政報告会
 - 3/25 びとう和広市政報告会&電機連合政策集会
 - 4/22 びとう和広後援会 総会
 - 6/4 潮干狩り・・・三菱電機労組(三田)との共催
- 等の後援会活動を開催するとともに、支援労組・団体訪問や後援会の皆様のお宅訪問を中心に活動を続けています。

7/10 に行われた参議院議員選挙、びとう和広は、兵庫選挙区では民進党参議院議員の現職「水岡俊一」、比例区では三菱電機労組出身「加藤敏幸」参議院議員の後を受け、電機連合から初挑戦の「矢田わか子」を精一杯応援しました。兵庫選挙区は残念な結果となりましたが、比例区では「矢田わか子」さんが約22万票で民進党3位と**立派な成績で当選**しました。

力強いご支援を賜り、ありがとうございます。

今後の予定としては

9/3 恒例となりました三菱電機三田製作所の**オータムフェスティバル**が開催されます。

後援会としても協賛し、「くじ引き」コーナーを開設します。多数のご来場をお願いします。

オータムフェスティバル
今年は9/3(土)



9/25 投票・開票の三田市議会選挙の4期目勝利に向け、精一杯がんばります。

これからも、皆様のご支援・ご参加・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

小倉会長 退任のご挨拶

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難う御座います。

『びとう和広』の初陣から、組合委員長として7年間、また、後援会会長として5年間、皆様のお支で後援会活動を進めることができました。皆様のご理解とご協力に、心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は三田市の全体と将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組み、皆様とともに、安心・安全で元気なまちづくりを進め、現在12年目、市議会議長も経験し、議会運営の中心として、その責任を果たしています。

今回の総会で退任となりますが、『びとう和広』に対しましては、倍日のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会前会長
小倉 義彦



浅居新会長 ご挨拶

後援会会員の皆様方には、日頃より大変力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。このたびの総会におきまして、長きにわたりご活躍頂きました前会長「小倉 義彦」氏の後任として、後援会会長を承認頂きました浅居です。よろしくお願いいたします。

今年9月には、三田市議会議員選挙が施行されます。後援会として、「びとう和広」必勝に向け、出来る限り後援会の皆様にお出合いし、より多くの皆様のお声をお聞きし、後援会の拡大を進めてまいります。

何卒、皆様のご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会新会長
浅居 繁樹



【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel : 079-563-1860 Fax : 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel : 079-562-8653 , Fax : 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitokazuhiro.com>